

モニタリング結果報告書

施設 厚木精華園

指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会

施設所管課 保健福祉局 福祉次世代育成部 障害サービス課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日		月報により利用状況、職員配置状況を確認。
11月	12月3日		
12月	1月8日		
1月	2月10日		
2月	3月10日		
3月	4月9日		

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

- 中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実
- 地域生活への移行の推進

<実施状況>

- 高齢化による嚥下の著しい機能低下が見られる現状の中で、個々の利用者の状態に合わせた多様な介護食の提供をより積極的に実施した。また、経口摂取が不可能になった利用者に対しては、胃ろう、経鼻等の経管栄養を実施した。さらに今年度からは居室にて在宅酸素の対応を実施し、誤嚥性肺炎の発生を最小限に抑える努力をするなど、様々な疾病を持つ利用者の健康状態の変化に速やかに対応するなどの細やかな支援を行った。
- 中高齢の知的障害者支援を中心に行ってきた厚木精華園では、高齢者であっても本人が地域での生活を望むのであれば、それを実現できるように支援をしてきた。平成9年度からグループホーム(現ケアホーム・グループホーム)の運営を開始し、今年度当初は35名がすでに地域生活を行っていたが、さらに5月には5名の利用者が地域生活に移行し合計で40名になった。
来年度に向けて、地域生活移行対象者となる利用者のニーズを再確認し、地域生活移行プログラムを策定した。
今後も継続して、利用者の地域生活移行を実現できるように努めて行く。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	740,852	251,748	412,181	76,923	714,676	26,176
上半期計 (a)	366,214	126,234	210,830 (203,322)	29,150	315,897	50,317
下半期計 (b)	378,136	126,744	219,546 (202,960)	31,845	396,939	△18,803
10月	62,385	18,755	37,043 (36,628)	6,587	42,326	20,059
11月	55,343	18,755	35,048 (31,047)	1,540	43,942	11,401
12月	73,254	33,748	36,948 (36,161)	2,558	99,796	△26,542
1月	56,182	18,755	35,807 (31,978)	1,620	54,625	1,557
2月	69,992	18,755	34,590 (32,486)	16,647	64,352	5,640
3月	60,980	17,976	40,110 (34,660)	2,893	91,898	△30,918
合計 (a+b)	744,350	252,978	430,376	60,995	712,836	31,513

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・指定寄付金収入が2200万円あり（上半期収入）、固定資産購入代金と修繕費用に充当した。
- ・寄付金は元保護者から。
- ・12月、3月の収支差額の減は、法人事務局への繰入金（賞与も含む）による。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)	
収入の状況	寄付金収入	22,911	
支出の状況	公用車購入（マイクロバス、他2台）	12,683	
	介助浴槽、洗濯脱水機、食器洗浄機、デジタルデソジネーション機一式、他	23,051	
積立等の状況	修繕積立金	(期首)	6,000
		(期末)	6,000

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

積立等の状況について、記載ミスにより今期より訂正

4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率
上半期計 (a)	635	人	686	人	△7.4%
下半期計 (b)	622	人	635	人	△2.0%
10月	103	人	110	人	△6.4%
11月	104	人	110	人	△5.5%
12月	104	人	105	人	△1.1%
1月	103	人	104	人	△1.0%
2月	103	人	103	人	0%
3月	105	人	103	人	1.9%
合計(a+b)	1,257人		1,321人		△4.8%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔平成21年5月に新たにケアホームが設置され、そちらへ移行したため前年比が減少となっている。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月						0
月						0
月						0
月						0
月						0
月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			0
月			0
月			0
月			0
月			0
月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
職員対応	・特になし	
	・	
事業内容	・特になし	
	・	
その他	・特になし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

今期は掲げていた目標が概ね達成でき、安定した事業を実施することができた。入院加療中だった利用者が続けて病気により亡くなることがあったが在籍中に厚木精華園が行った支援内容について、遺族からは感謝の意を表される言葉を頂き、今後も中高齢の知的障害者支援をさらに充実させていくことへの励みになった。

施設所管課

中高齢知的障害者への支援の取組みとして、慢性疾患の早期発見や医療的ケアの充実について、職員の研修制度を作るなど、利用者の高齢化や身体機能低下に対する取組みを積極的に行っている点、また本人のあるべき姿への支援に向け、地域生活移行の可能性を模索し、ケアホーム事業の展開を行っている点は非常に評価できる。利用者の体調急変等に素早く対応できるよう、リスク管理の充実や、中高齢知的障害者でも地域生活移行ができるという実践を今後とも継続してほしい。